

# KERAFECT



本物の活性ケラチンが  
ヘアケアの常識を覆す

# WHAT'S "KERAFECT"?

## BRAND HISTORY

現場の声を形にする「マーケットアウト」をコンセプトに掲げ、理美容関連の事業を手掛ける株式会社トライアングル。2020年、同社トライグッツ事業部は、画期的な活性ケラチンブランド『KERAFECT』を発表した。さまざまなケミカル処理の過程で髪の保護・補修効果を発揮する「コネクター」を皮切りに、ダメージ毛を幅広い角度からケアする粧剤を開発。この『KERAFECT』の根幹を成す最大の特徴が「活性ケラチン」だ。

毛髪を構成する成分であるタンパク質。そのタンパク質のほとんどを占める「ケラチン」を配合することで髪のダメージをケアする製品は、これまでも数多くのブランドからリリースされている。しかし一般

的なケラチンは分子量が大きく、毛髪内部に浸透させるのが難しいことに加え、原料となる羊毛などからケラチンを抽出する際、パワーの強い薬剤を使用するため、その過程でケラチンを構成するアミノ酸を劣化させてしまうケースがほとんどだった。そうした多くのハードルをクリアし、アミノ酸を劣化させずに抽出した「活性ケラチン」を使ってつくられたのが『KERAFECT』だ。同ブランドで最初にリリースされた処理剤「コネクター」には、ケラチン原料の処方において大きな課題だった低分子化を実現した活性ケラチンを配合。そして現在では、低分子～高分子活性ケラチンを毛髪のさまざまな箇所に対して確実に作用、浸透、定着させる処理剤や

ツールを開発・展開。ブリーチ&カラーやパーマ、ストレートパーマといったケミカル処理によるダメージリスクの低減、傷んだ髪の補修を可能にし、その劇的な効果で多くのサロン、美容師から厚い支持を得ている。

「実際に使ってもらえれば、絶対に効果を実感していただけます」と語るのは、トライグッツ事業責任者であり、『KERAFECT』を立ち上げた松本鉄平氏。自身も美容師として活動していた同氏は、「サロンのお客さまにもっとケア効果を実感してもらえる製品はないか」と追求し続けた結果、自身でオリジナル製品の開発に着手。既存製品の分析に始まり、粧剤の原料となるケラチン、さらにはヘアケアに効果的なケラチン

のもととなる羊毛の探求や、抽出されたケラチン原料の調達、そして各種成分のベストな配合バランスの研究から製品化まで、全てのプロセスで徹底したこだわりを貫いてきた。

「ないものは、つくればいい。現場が求めるものを開発し、提供する「マーケットアウト」のスタンスを崩すことなく、美容師としての視点でサロンのお客さまが効果を実感できるものを生み出す。こうした思いが『KERAFECT』の根幹にあり、同シリーズは美容師のスキルを十分に生かせる素材環境をつくりながら、ヘアスタイル提案の可能性を広げ続けている。



開発者プロフィール  
松本鉄平 TEPPEI MATSUMOTO

1980年生まれ。栃木県出身。株式会社トライアングル常務取締役、トライグッツ事業責任者。日本美容専門学校卒業後、美容室数店舗での勤務を経て、2010年に株式会社トライアングル入社。17年にトライグッツを立ち上げる。製品開発や原料調達など、プロダクト開発全般を担当し、20年に活性ケラチンブランド『KERAFECT』を立ち上げる。現在もサロンワークを続けながら、同社の経営理念である「マーケットアウト」を軸に国内、海外へ事業展開している。

## KERAFECTオリジナルの「活性ケラチン」

一般的なケラチンと、『KERAFECT』の根幹を成す「活性ケラチン」の違いとは何か？ それは、活性ケラチンが人間の毛髪を形成するタンパク質（ケラチン）と極めて近い点にある（図1）。ヒトの毛髪を構成する18種のアミノ酸と活性ケラチンのそれとを比較すると、それぞれの含有率が非常に近く、全体的にはほぼ同様のバランス

で構成されていることが分かる。つまり活性ケラチンは、ヒトの毛髪ケラチンと限りなく近い成分だと言えるのだ。

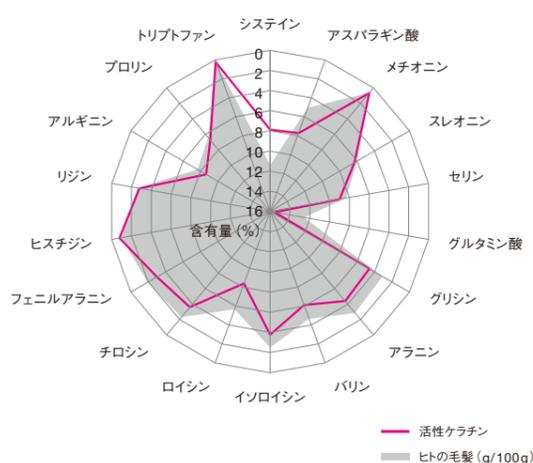
また『KERAFECT』が採用している活性ケラチンは、S-S結合（シスチン結合＝システインが2つ結合している形）を保持しており、毛髪の構成成分としっかりつながり、ダメージ毛に対して高い補修効果を

発揮する（図2）。さらに低分子活性ケラチンを配合した「コネクター」を使用した毛髪と、使用していない毛髪とでは、その強度に明らかな違いが生じることも立証されている（図3）。

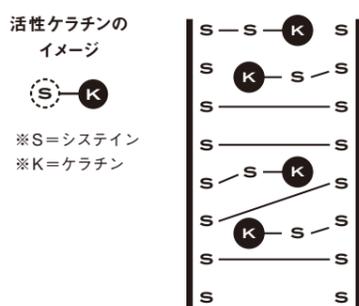
こうした結果は全て、髪に限りなく近いケラチン＝活性ケラチンの賜物。なお『KERAFECT』シリーズとして最初に

発表された「コネクター」は、低分子化された活性ケラチンをベースとしているため、髪を内側から強化。さらに現在、『KERAFECT』シリーズには低分子活性ケラチンだけでなく、中分子、高分子活性ケラチンを主軸とした処理剤や、それらの浸透・定着を促す製品も次々とリリースされ、髪の総合的なケアを可能にしている。

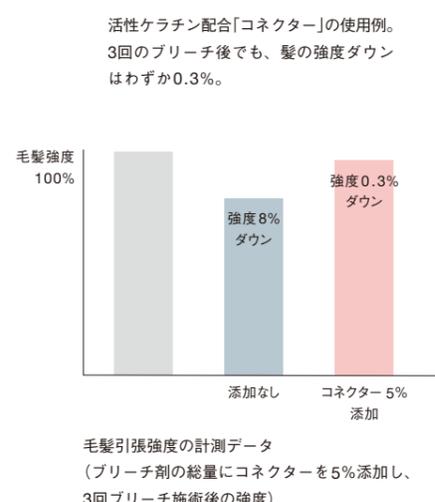
（図1）毛髪ケラチンと活性ケラチンのアミノ酸組成比較



（図2）毛髪内部の結合イメージ



（図3）KERAFECT コネクター使用・毛髪試験データ



# KERAFFECT / BIG FOUR ITEMS

## ケラフェクト四天王

ここでは『KERAFFECT』シリーズの中でも四天王といえるアイテムをピックアップ。高いケア効果を発揮する4つのアイテムを、素材のコンディションに合わせて使い分ければ、お客さまにダメージを感じさせない仕上がりを提供することができる。

また4つの製品とともに、トリートメント、ブリーチ&カラー、パーマ、ストレートパーマ各施術の代表的なプロセスも紹介。髪にケミカルな負荷がかかる施術において、これらのアイテムを使いこなすことが、今までの常識にとられないスタイル提案につながる。



### KERATEINE® SPW

「コネクター」を中心に、オリジナル活性ケラチン原料「ケラテイン® SPW」を配合。



### コネクター／フィルムコネクター用 ベースウォーター（左）＆ベースフォーム（右）

いずれも「コネクター」「フィルムコネクター」希釈用。液状か泡状か、使いやすい剤形に合わせてチョイスするとよい。



### ケラフェクト コネクター

低～中分子活性ケラチン配合。髪の表面と内部の双方を強化。主に前・中・後処理やプレックス剤として使用。



### ケラフェクト フィルムコネクター

中～高分子活性ケラチン配合。主に毛髪外面を強化し、うねりを緩和。使用方法は「コネクター」と同様。



### ケラフェクト アシッドリンク

3種のジマレイン酸を配合。S-S結合の架橋や、活性ケラチンの定着を促進。2つの「コネクター」の効果をサポート。



### ケラフェクト CMCリンク

ダメージ毛の水分と脂質アップに特化した内部浸透型CMCトリートメント。髪のダメージを総合的にケア。

## KERATIN CARE PROCESS: MODEL CASES

コネクターまたはフィルムコネクターの希釈には、ベースウォーターかベースフォームを使用。

### TREATMENT

- 1 プレシャンプー
- 2 コネクター塗布 (5～10倍希釈)  
※使用量は10～15mL程度
- 3 フィルムコネクター塗布 (5～10倍希釈)  
※使用量は10～15mL程度
- 4 アシッドリンク塗布＋コーミング  
※使用量は10～20g程度
- 5 放置＋流し  
※放置時間は3分
- 6 CMCリンク塗布＋コーミング  
※使用量は10～20g程度
- 7 流し  
※放置せずに流す
- 8 ドライ＋アイロン施術

### BLEACHING AND COLORING

- 1 ブリーチ剤にコネクター or  
フィルムコネクターを添加  
※コネクター or フィルムコネクターの  
原液をブリーチ剤の総量の5%添加
- 2 ブリーチ剤塗布＋放置  
※ブリーチ剤のパワーや目指す明度に  
合わせて放置時間を調整
- 3 シャンプー
- 4 アシッドリンク塗布  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 5 放置＋流し  
※放置時間は3分
- 6 CMCリンク塗布  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 7 流し  
※放置せずに流す
- 8 仕上げ

### + PERM

- 1 ワインディング＋1剤塗布＋流し
- 2 コネクター or  
フィルムコネクター塗布 (10倍希釈)
- 3 2剤塗布＋放置＋流し
- 4 アシッドリンク塗布  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 5 放置＋流し  
※放置時間は3分
- 6 CMCリンク塗布  
※放置時間は3分
- 7 流し  
※放置せずに流す
- 8 仕上げ

### + STRAIGHT PERM

- 1 1剤塗布＋流し
- 2 コネクター or  
フィルムコネクター塗布 (10倍希釈)
- 3 CMCリンク塗布  
※コネクター or フィルムコネクター  
に重ね付け  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 4 流し  
※放置せずに流す
- 5 ドライ＋アイロン施術
- 6 2剤塗布＋放置＋流し
- 7 アシッドリンク塗布  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 8 放置＋流し  
※放置時間は3分
- 9 CMCリンク塗布  
※塗布後、しっかりもみ込む
- 10 流し  
※放置せずに流す
- 11 仕上げ

# KERAFFECT OTHER ITEMS

## KERAFFECT STRAIGHT



5種類の1剤全てにオリジナルの活性ケラチン「ケラテイン® SPW」を配合し、ダメージを補修しながらやわらかい仕上がりをかなえるストレート剤。「4.5～8」の4つはアルカリ剤無配合、「9+」はアルカリ剤入りで、還元剤には5種全てにチオグリコール酸システアミンなど数種を採用。また1剤は5つのpHから選べるため、ミックスせずに薬剤のパワーコントロールや塗り分けができる他、レブリン酸やジマレイン酸配合の毛髪保護剤「0」もラインアップし、さまざまなコンディションの髪に対応可能。2剤には毛髪内部で水素結合とイオン結合をつくり、コルテックスで働くファイバーハンスを配合しており、髪ハリ・コシを向上。

### KERAFFECT STRAIGHT / LINE UP & SPEC

	製品	pH	チオ換算値	アルカリ度
1 剤	ストレート4.5	4.5	6.37%	0
	ストレート5.5	5.5	6.37%	0
	ストレート6.5	6.5	6.37%	0
	ストレート8	8.2	6.37%	1.5
	ストレート9+	9.2	6.37%	3
保護剤	ストレート0	pH4.1	レブリン酸、ジマレイン酸配合。主に毛先の損傷部に使用。	
2 剤	ストレート No.2	ファイバーハンス配合で髪にハリ・コシを与える。活性ケラチンとの組み合わせで、補修効果がアップ。		

## KERAFFECT CURL



酸性領域でパワーコントロールが可能なカーリング剤。オリジナルの活性ケラチン「ケラテイン® SPW」の他、分子量の異なる活性ケラチンを数種類配合することで、ダメージを補修しながらリッジのある仕上がりを実現。主な還元剤はチオグリコール酸システアミン。通常のシステアミンと異なり、HCL(塩酸塩)が結合していない還元剤のため、残臭の低減が可能に。またアルカリ剤無配合でダメージ毛にも使いやすく、1剤は2つのpHから選べ、ミックスせずに酸性領域で薬剤のパワーを操作できる。2剤は使いやすいフォームタイプ。ファイバーハンス配合で高い補修効果を発揮し、活性ケラチンとの組み合わせでその効果がアップする。

### KERAFFECT CURL / LINE UP & SPEC

	製品	pH	チオ換算値	アルカリ度
1 剤	カール4.5	4.5	6.37%	0
	カール6.5	6.5	6.37%	0
2 剤	カール No.2	フォームタイプの2剤(酸化剤濃度10%)。ファイバーハンス配合で、毛髪内部のケラチン繊維を強化。活性ケラチンとの組み合わせで、補修効果がさらに高まる。		

## KERAFFECT STRAIGHT WIDE IRON

『KERAFFECT』シリーズの威力を存分に発揮できる施術メニューの1つがストレートパーマ。しかしその施術において、各種処理剤で髪を理想的なコンディションに整えられたとしても、アイロン施術が不十分だと髪的美しさは損なわれてしまう。そこで活躍するのが、精密な温度制御と特許構造のプレートで「かみ合わせ」にこ

だわった、日本製の縮毛矯正専用アイロン『KERAFFECT STRAIGHT WIDE IRON』だ。温度設定の高精度化と素早い復帰、またスプリング入りのプレートで、髪に余計な負荷をかけない設計が特徴。さらに幅40mmのワイドプレートで、安定した熱処理を可能にしている。



#### 製品仕様

- 電力・電源 300W/AC100V | 50Hz/60Hz
- スイッチ ON/OFF プッシュ式
- コードの長さ 3m
- 重量 400g(コード含む)
- 製造国 日本
- ヒーター・温度 セラミックヒーター | 50°C～200°C

## KERAFFECT INFORMATION

OFFICIAL SITE  
<https://keraffect.jp/>



YOUTUBE  
<https://www.youtube.com/@trigoodspro6718>



TRIGOODS-Q&A  
<https://trigoodspro.net/qa/>



OFFICIAL LINE  
<https://page.line.me/501djpp/>

